

湯川村企画展

入場無料／申込不要

発掘された勝常寺

2026 11/13 金 ▶ 12/7 月

[会場] 湯川村役場 村民ホール

[開場時間] 9:00～16:30



期間中開催

11/23
月・祝

「米と文化の里」湯川村シンポジウム

勝常寺の考古学

[会場] 湯川村公民館 2階 大ホール

[開会] 12:00～16:00 (受付11:00～)

▶ シンポジウムの概要は裏面にてご案内しています

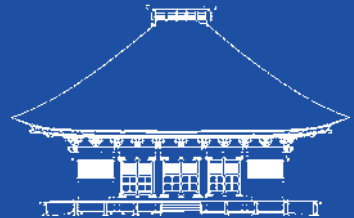


企画展 HP

主催／湯川村教育委員会 協力／勝常寺・磐梯町教育委員会・会津坂下町教育委員会
お問合せ／社会教育課(湯川村公民館) ☎ 0241-27-4107



「米と文化の里」湯川村シンポジウム 勝常寺の考古学



「米と文化の里」湯川村は、大同二年(807)徳一上人によって開かれた伝承を持つ、東北を代表する古刹である勝常寺を擁し、国宝「薬師如来三尊像」を初めとする文化遺産を大切に継承してきました。

平成22年から実施してきた勝常寺旧境内の範囲確認調査や各種調査によって、古代・中世の勝常寺の姿が明らかになってきました。

調査成果を踏まえ、陸奥国内の寺院例との比較検討から、古代の勝常寺を検証していきます。また、発掘調査と文献調査の成果から中世の勝常寺について検証し、現代まで続く“会津中央薬師”勝常寺の歴史的価値について考えていきます。

｜シンポジウムの内容｜



問題提起

「勝常寺旧境内の歴史的価値」

京都大学名誉教授 **上原 真人** 先生



講演①

「勝常寺の造営と貞観陸奥国大地震」

元福島県立博物館 主任学芸員 **荒木 隆** 先生



講演②

「城柵設置域の古代寺院」

元宮城県多賀城跡調査研究所 研究員 **村田 晃一** 先生



講演③

「中世史料からみた勝常寺」

福島県立博物館 専門学芸員 **高橋 充** 先生

｜パネルディスカッション｜

上原 真人先生の進行のもと、荒木 隆先生、村田 晃一先生、高橋 充先生、調査担当者から、これまでの調査成果で明らかになった勝常寺の姿について論じていきます。

｜湯川村へのアクセス｜



湯川村役場・湯川村公民館

●磐越自動車道「会津若松IC」よりR121を北上、「会津若松北IC」から会津縦貫道に入り「湯川南IC」より約4分



勝常寺



国宝に指定されている木造薬師如来坐像及び両脇侍の日光・月光菩薩像をはじめ、平安時代の仏像が多数安置されています。

■拝観について
期間／4月1日～11月15日(火曜日定休)
時間／午前9時～午後4時
事前予約をお願いします。☎0241-27-4566